



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.6.24
No. 102

JR東日本は法令遵守??

八王子駅パンフ配布処分事件

全部救済を無視!?

2023年6月7日、輸送サービス労組が申し立てをしていた「JR八王子駅パンフ配布処分事件」において東京都労働委員会はJR東日本に対して組合側の主張を全て認める全部救済の命令書を交付したがいまだに2名の組合員に対して処分を撤回と今後このような行為を繰り返さないよう留意することの2点が一切履行していません。命令に不服があり中央労働委員会等に再審査の申し立てをした場合でも初審命令の効力は停止しません。よって現在、JR東日本は命令書違反の状態です。

JR東日本のホームページには「JR東日本グループのコンプライアンスに関する取り組み」が記載されており、JR東日本は自ら記載した第1項「法令遵守・企業倫理」及び第10項「問題への対処（経営姿勢）」を有言実行するべきです。

1. 法令順守・企業倫理

役員及び社員等は、事業活動のグローバル化に対応し、国内外の法令やルールを遵守し、人権を含む各種規範、それぞれの地域の文化を尊重するとともに、高い倫理観を持って行動します。

10. 問題への対処（経営姿勢）

経営トップは、本指針に反するような事態が発生したときには、自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にしたうえ、自らを含めて厳正に対処します。

命令書違反は

禁錮刑や罰金刑にあたる
コンプライアンス違反です

経営幹部の皆さん
皆さんが決めたことですよ?

コンプライアンス違反は

イメージ・ブランド力・信用の失墜の象徴だ